2026年

第十八回文全協歴史講座

弥生農耕社会と古墳時代研究で日本の考古学研究を牽引された大阪大学名誉教授の都出比呂志さんが、昨年83歳で逝去されました。都出さんは研究活動とともに遺跡保存運動でも活躍されました。都出さんを偲びつつ、その学問的業績と文化財保存運動への貢献を顕彰する歴史講座を企画しました。ぜひご参加ください。

都出比呂志さん（大阪大学考古学研究室提供）

都出比呂志さん追悼

3月8日（日）14：00～17：00

龍谷大学大宮学舎［清和館3階ホール］

JR・近鉄・地下鉄京都駅烏丸口から北西へ徒歩約15分
京都駅前から市バスで七条大宮・京都水族館前下車（3分）

申込不要（定員150名）
資料代500円（受付にて）

講師：國下多美樹　氏（龍谷大学教授）
地域史研究と文化財保存　―都出先生に学ぶこと―

講師：岡村勝行　氏（世界考古学会議［WAC］執行委員）
「運動」としての考古学　都出先生のメッセージとその継承

講師：小笠原好彦　氏（滋賀大学名誉教授・文全協前代表委員）
都出比呂志さんの文化財保護と著書『日本農耕社会の成立過程』
―弥生時代の環濠集落は防御集落か？―

主催・問合せ　文化財保存全国協議会 事務局 杉田 義　TEL・FAX　0743-52-1404